



# 意見交換会 ニュースレター

発行元：大田区空港まちづくり本部  
発行日：令和3年7月12日



羽田空港跡地第1ゾーンの公園に関する意見交換会



大田区は、羽田空港跡地のまちづくりの一環として羽田空港・多摩川のそばに新しく整備する公園について、ご利用になる皆さまからご意見をいただいております。みんなが使いたくなる公園にするためにはどうしたらよいかを、公募によりお集まりいただいた皆さんが意見を出し合う意見交換会第3回（最終回）を開催しました。



## 第2回の振り返り

第1回で設定した主人公（公園利用者）になりきる、ロールプレイング・ゲームを実施。それぞれの主人公が同時に公園を利用するシチュエーションを体験的にイメージしました。人々が出会うことによる相乗効果や、ルールをつくり、守るための仕組みづくりなどの課題に気づきました。

## 第3回 意見交換会のねらい

第2回でまとめた「公園でしたいこと・そのために欲しいもの」、「6人の主人公が同じ公園を使うことで起きる良いこと・悪いこと」をもとに、必要と思われる施設の具体的な配置案を作成し、みんなが楽しく利用できるようにするための使い方について考える。

## 開催概要

日時：令和3年6月26日（土） 9時30分～12時30分  
テーマ：『必要なレイアウトと使い方を考えよう』  
ねらい：みんなが主人公になれるようにするために、必要な公園のレイアウトや使い方を考える  
場所：大田区産業プラザPiO  
参加人数：27名（6グループに分かれて話し合ってもらいました）

コロナ感染対策を実施し、参加者の安全に配慮して開催しております！

<対策内容>

- ・マスク着用、手指消毒の徹底 ・体温計測を実施
- ・密を避けるため、各グループが独立した部屋で意見交換を実施
- ・参加者同士の接触を避けるため、デジタルホワイトボードツールを使用
- ・アクリル板の設置 ・ソーシャルディスタンスの確保 ・常時、部屋の換気



区のHPにも、  
ニュースレターを  
掲載しております。

## プログラム

- ・第2回意見交換会の振り返り
- ・**公園をつくってみよう！ ～6人が主人公になれる公園を考える～**  
6人の主人公が公園を利用するために必要なものをイメージしながら、白地図とスケールカードを使って、公園のレイアウトを考える
- ・**使い方を考えよう！ ～みんなが楽しく使うために～**  
みんなが同じ公園を使うことで起きる「良いこと」と「課題」をもとに、楽しく、満足できる使い方や仕組みを考える
- ・まとめの発表

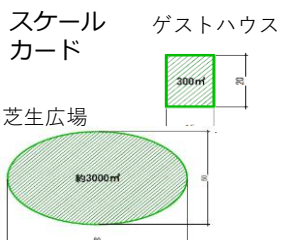
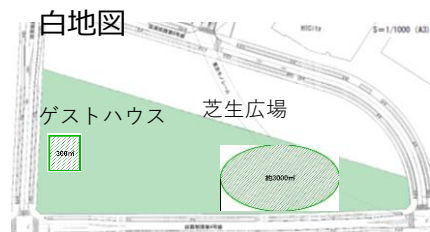




## 実施概要



**ま**ず、第2回で考えた「6人の主人公がしたいこと、欲しいもの」のなかから、各出席者がスケールカードを参考に、公園に必要な施設を白地図にレイアウトしました。「芝生広場」、「イベントステージ」、「展望ゲストハウス」など、思い思いに様々なものを置くなかで、2haという限られた公園面積にどのように収めるか試行錯誤しました。



※スケールカード：芝生広場などを公園白地図の縮尺に合わせて用意したもの。

**次**に、「6人の主人公が同じ公園を使うことで起きる良いこと・悪いこと」をもとに、グループでレイアウトをまとめました。各々の思いをすり合わせることで、気づかなかった視点を発見し、全員が満足できる公園とするにはどうすればよいか、意見交換を重ねました。「海外渡航者と地域の人々が出会う空港近接ならではの交流スペースを設置」、「キッズ、球技等のスペースを離す」、「お互いが尊重し合って利用できる公園」など、実際の利用シーンをイメージした意見がまとめられました。



**更**に、レイアウトした公園を使いやすくするため、使い方の工夫や仕組みを考えました。



- 複数の使い方：普段はイベントやキャンプ、非常時は防災に使える広場や遊具、ベンチ
- 子どもも大人も楽しめる工夫：球技専用スペースは、日中は子ども、夜は大人が利用
- 利用者が関わる仕組み：利用者参加型の公園運営組織を設置し、多様な意見を取り入れる仕組みづくり

**最**後に、全員が一堂に会しました。グループごとに、思いを込めた公園名称やグループ名を披露し、レイアウトや施設の配置案、おすすめのポイント、使い方の提案などを発表しました。

いずれのグループも特色のある内容で、かつ発表にあたっては、複数メンバーで行うグループもあり、発表ごとに盛大な拍手が送られ、終始温かい雰囲気でした。



全3回の成果はグループごとにポスターとしてまとめ、**成果発表会（7月17日）**で発表します。

